

港区立御成門小学校
令和5年度 授業改善推進プラン

1 課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、相手や場を意識した話し方に課題がある。高学年になるにつれ徐々にスキルは身に付き克服する児童が増加する半面、内容を整理して話す、自分の考えを分かりやすく伝えることが課題となりやすい。 ・自分の解釈で一方向的に話を聞いてしまうことや、相手の話を(要点や中心を考えて)聞きながら自分の考えをもったりまとめたりすることに課題がある。 ・読書に親しみをもってはいるが、習慣化されていなかったり、内容に偏りがあったりする。文章を読みながら自分の考えをもったり、筆者の考えやその考えを補う具体例について読み取ったりすることに課題がある。 ・文章を書く際に、既習漢字を活用できない児童が多い。また、会話のように文章を書くことが多く、文章の構成に不安がある児童も多い。自分の考えをまとめて書ける児童もいるが、どの学年も個人差が大きい。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が何を示しているのが把握できなかつたり、その要点を見落としたりすることがある。 ・社会的な事象に対し、自分事として捉えて疑問をもったり意欲的に調べたりする力が乏しい。 ・資料と社会的な事象や地域の生活を結び付けて考えたり、課題を見いだしたりすることに至らない児童が多い。 ・学習をもとに考えたことを表現する場面では、意欲的ではある。しかし、文章で記述したり、説明したり、話し合ったりすることの経験が足りていない。 ・47都道府県の名称と位置の理解について習熟が必要。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の技能・速度や数量感覚の個人差が大きい。 ・道具(分度器)を用いて正しく読んだり、作図したりすることが苦手である。 ・学習内容が定着しておらず、学習後時間がたつと学習内容を忘れる。 ・問題文を読んで演算を決定したり、求めた答えが何を示すのか判断したりすることが苦手な児童が多い。 ・相手に分かりやすいように根拠を示して自分の考えを表現することや、既習事項をもとに新しい考え方を導くことが難しい。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象から、問題を見出すことに課題がある。 ・身の回りの事象や経験をもとに問題に対する予想を考える場面では、日常の経験と自分の考えを結び付けることが難しい児童がいる。 ・実験、観察計画を立てるにあたり、自力で計画を立てられない児童がいる。 ・実験の結果を整理して記録することが苦手である。 ・実験の結果としての事実と、そこから考えた考察を区別することに課題がある。 ・めあてに沿って、実験結果をもとに考察をすることに課題がある。 ・実験の結果を公平・客観的に評価できず、仮説に正対した考察をすることに課題がある。 ・学習したことと、今後の学習や生活とのつながりを考えようとする意識が低い。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話す力・聞く力 (相手の話を最後まで聞き、自分の考えを形成したり伝えたりする) ・言語に関する知識・技能 (語彙量の増加・既習漢字を正しく書く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話すときの話型や聞くときの観点を提示し、話題の中心を明確にして伝え合いができるようにする。 ・お話タイムを活用し、要点を捉えながら相手の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりする経験を積ませる。 ・既習漢字や教材文の中の語句を用いて、短時間で言葉集めや、短文を書くことをくり返し練習する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る力。 都道府県に関する知識及び技能。 自分の生活と結び付けて考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業内において、教科書等の資料を取り扱う時間を確保し、見方や考え方を養う。 都道府県の位置や名称が分かる掲示物を活用し、児童の目に留まりやすくする。授業内でも適宜掲示物を活用しながら、正しい位置と名称を振り返る機会を継続して設ける。 ペアやグループでの話し合いを取り入れ、友達の考えを聞きながら自分の考えをもつことができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素等に着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、公式として導く。 データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、言葉、式、図、グラフ、表などを用いて、それらに関連付けながら考えを分かりやすく表現する学習活動を繰り返し設定する。 問題を解決する過程で、見通しをもち筋道を立てて考えて説明したり、性質や法則などを発見したり確かめたり、既習の算数を活用する手順を的確に説明したりする学習を重視する。その中で、友達の説明のよさを見付けて自身の説明を振り返ることにつなげさせる。また、根拠を明らかにし筋道立てて説明している表現を全体で共有し、価値付ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事象・現象についての問題を科学的に解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象提示の方法を工夫し、主体的に問題解決をしようとする意欲をもたせる。 実験や観察の手順、気をつけること、記録の仕方などを視覚的に明示し、ノートや板書を見ることで、いつでもその方法を確認することができるようにする。 実験の結果から考察を導く方法を繰り返し指導し、定着することができるようにする。いくつかのパターンを例として取り上げ、理科室内の掲示物等で示す。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人々や社会、自然を自分との関わりで捉え、体験活動等を通して、自分自身や自分の生活について考えたり、表現したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入や活動の場を工夫し、児童の思いに沿った学習計画を立てる。 体験活動を充実させるとともに、活動から得た気づきをもとに考える時間を設け、学習活動が体験のみで終わらないようにする。 観察する視点を焦点化し、変化に気づきやすくする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表現および鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽と豊かにかかわることができる力。他者と協働しながら表現したり、音楽のよさを見出したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲との出合わせ方や導入を工夫する。 ・気付きを引き出す。(発問→発言→必要に応じて教師の追発問→全体での共有→価値づけ)。 ・技能練習の工夫(繰り返し練習する部分の精選)。 ICTを使って個別指導を工夫する。 ・意見交流の場の設定とその工夫をする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力。また、他者との関わりの中で自分なりの視点を持ち、発想を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や環境の特徴を生かし、児童に合った題材をつくる。 ・題材にあった鑑賞方法で鑑賞することで学びを深める。 ・一人一人の発想や、表現を大切にす言葉がけをする。 ・校内に児童の作品を定期的に展示し、異学年の児童の作品を鑑賞する機会をつくる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的な理解、それらに係る技能 ・課題に対する取組を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識や技能と生活経験を結び付けながら、実践的・体験的な学習を行う。その中で、学習内容の定着を図るとともに、日常生活に生かし、発展させる。 ・観察や実習の結果を整理する際のレポート作成などを充実させることを通して、実践を評価したり、改善したりする力を身に付けさせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性を理解するとともに集団的活動を通して児童のコミュニケーション能力を育んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動が工夫して行えるような簡単な場、簡易化されたルールを確保し、運動の特性を味わえるようにする。 ・授業の中でそれぞれが学習のめあてをもつ。その達成できるような学習の展開や児童が互いに声を掛け合う環境を設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに、アルファベットの大文字小文字が書けて読めるようになる。 ・卒業までに、音声で十分に慣れ親しんだ単語や文章などを活用してやり取りができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを設定し、NTと協力し、その為に有効な学習活動を計画する。 ・低学年では、音声と文字に親しんだり識別したりする活動を多く取り入れる。高学年からは、4線を使って正しく書けるように、ワークシートや指導を工夫する。 ・視覚情報や状況設定などをもとに、音声に慣れ親しませるとともに、繰り返し声に出して言い慣れさせる指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値について理解する。 ・物事を多面的・多角的に考えることができる。 ・道徳的価値を基に、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技など、疑似体験的な表現活動を取り入れ、道徳的価値の意義などについて考えを深められるようにする。 ・自分の考えをもち、それをペアやグループ、全体で交流したり話し合ったりする活動を積極的に取り入れる中で、多様な感じ方や考え方に触れさせる。 ・その後の自分や友達の考えについて振り返る時間を確保する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成しようとする態度 ・問題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動の在り方について「東京都特別活動授業プラン」の冊子を活用する。 ・縦割り班活動・クラブ活動・委員会活動など異学年交流の充実させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で取り組むべき課題を見いだす。 ・事象を関係付ける、多面的にみる、理由付ける、構造化するなどして情報を整理・分析する。 ・学習したことを自分の生活と結び付け、活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や既習事項をもとに、児童が関心や疑問をもったことを課題にできるようにする。 ・学習内容や目的に合わせて、情報や考えを整理したり、情報を分析して課題を解決し新たな課題を見いだしたりする。 ・一単位時間ごとに学習をふり返り、次時の学習計画を立てられるようにする(自らの学びを調整する)。 ・学習の成果を表現した後に、学んだことを今後どのように自分の生活に生かしていくのか、考える時間を設ける。